

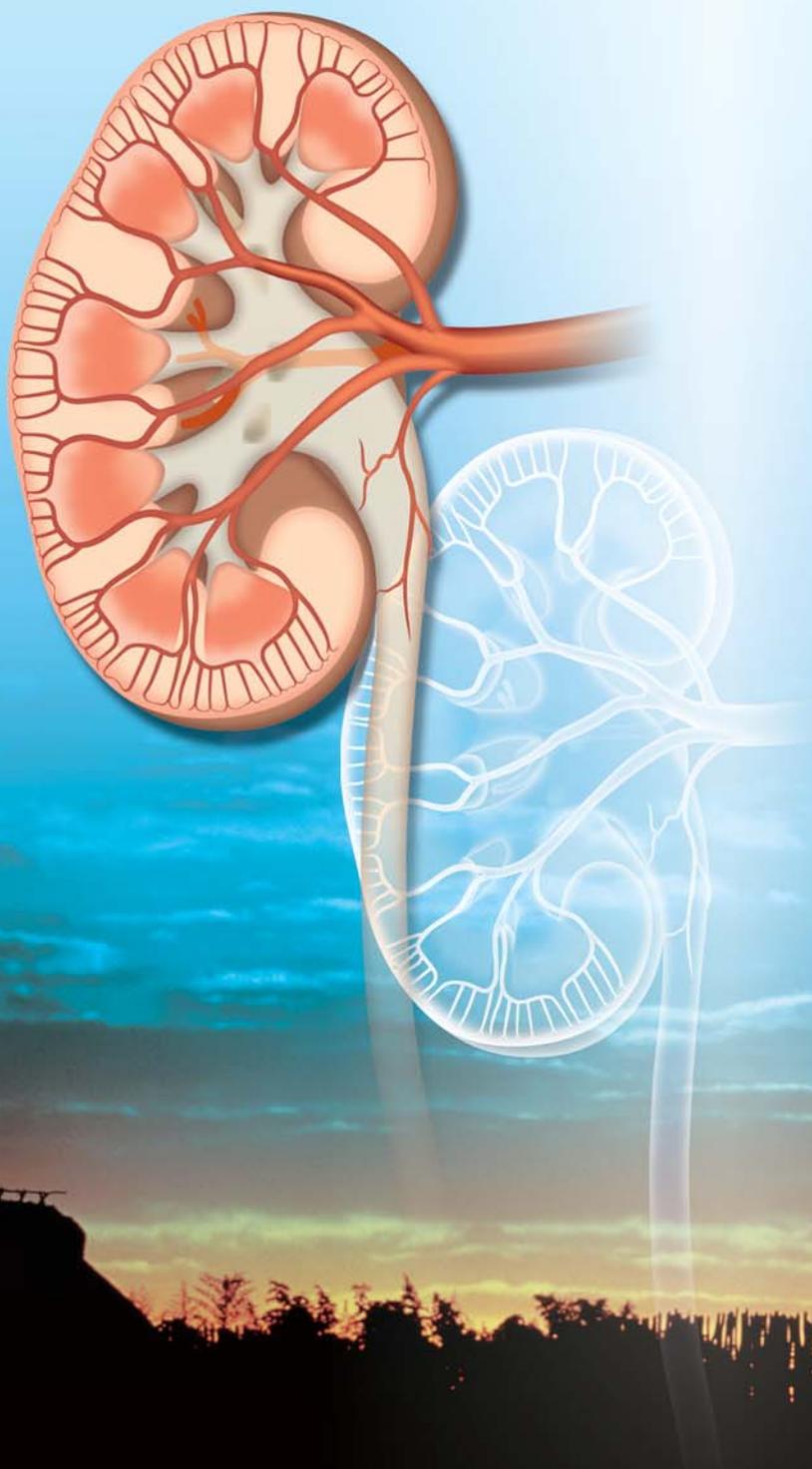
# 第32回 九州腎臓移植研究会

プログラム・抄録集

会期 ◆ 2012年 5月26日(土)

会場 ◆ 佐賀大学医学部  
看護学科棟

会長 ◆ 魚住 二郎  
佐賀大学医学部 泌尿器科



---

# 第32回 九州腎臓移植研究会

プログラム・抄録集

会期 ◆ 2012年 5月26日(土)

会場 ◆ 佐賀大学医学部 看護学科棟

会長 ◆ 魚住 二郎  
佐賀大学医学部 泌尿器科

第32回 九州腎臓移植研究会事務局

佐賀大学医学部 泌尿器科

担当: 野口 満

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1

TEL: 0952-34-2344

FAX: 0952-34-2060

# お知らせ

## 【参加者の皆様へ】

- 1) 受付は5月26日(土)午前10時30分より佐賀大学医学部看護学科棟1F 講義室5101室で開催します。
- 2) 参加費：3,000円を受付でお支払いいただき、参加証をお受け取り下さい。所属・氏名を記入の上、会場内では必ずお付け下さい。
- 3) 施設年会費も受け付けております。
- 4) 会場内では携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定して下さい。

## 【HLA九州地区担当者会議】

5月26日(土)午前11時より佐賀大学医学部看護学科棟2F 講義室5202室で開催いたします。軽食を準備しております。(担当者以外の参加も歓迎)

## 【幹事会】

5月26日(土)正午より佐賀大学医学部看護学科棟2F 会議室5201室で開催いたします。関係者の方はお集まり下さい。昼食を準備しております。

## 【発表者の皆様へ】

- 1) 発表時間は5分、討論時間は5分の合計10分です。時間厳守でお願いします。
- 2) 発表の30分前までにPC受付を済ませて下さい。
- 3) 発表はすべてパソコン使用、パワーポイントでのプレゼンテーションとなります。Windows版(2003, 2007)のみ使用可能です。Macユーザーは、あらかじめパワーポイントファイルがWindowsで正しく表示されることをご確認下さい。(不具合が生じる場合もございますので、念の為パソコンと外部モニター出力端子・変換コネクタをご持参下さい)
- 4) 発表データのファイル名は、〔演題番号・氏名〕として下さい。
- 5) メディアはUSBメモリに保存してお持ち下さい。CD, MO, FD, ZIPなどは受付できません。また、パソコンの持ち込みもできません。
- 6) 演者の方は、前演者の口演開始後、次演者席にお座り下さい。

## 【座長の先生方へ】

- 1) 座長の先生方は担当セッションが始まる30分前までに座長受付をお済ませ下さい。
- 2) 次セッション担当の座長の先生は、お早めに次座長席にお座り下さい。

# 会場アクセス図

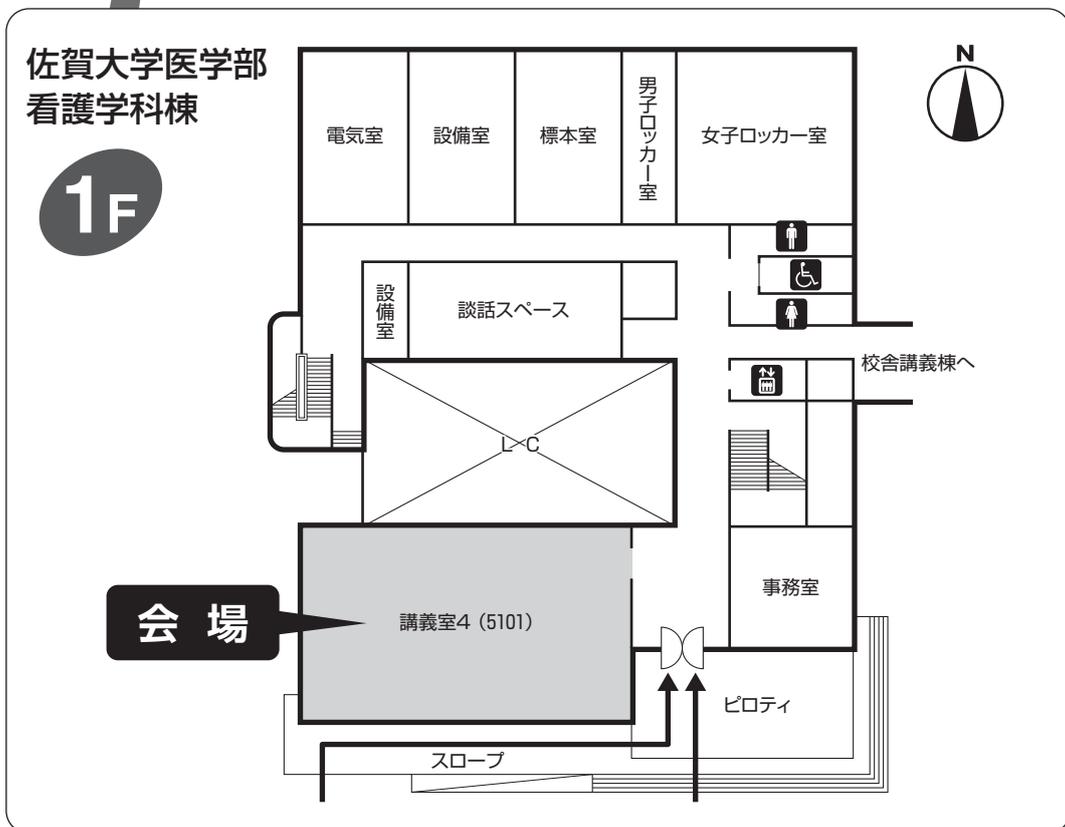
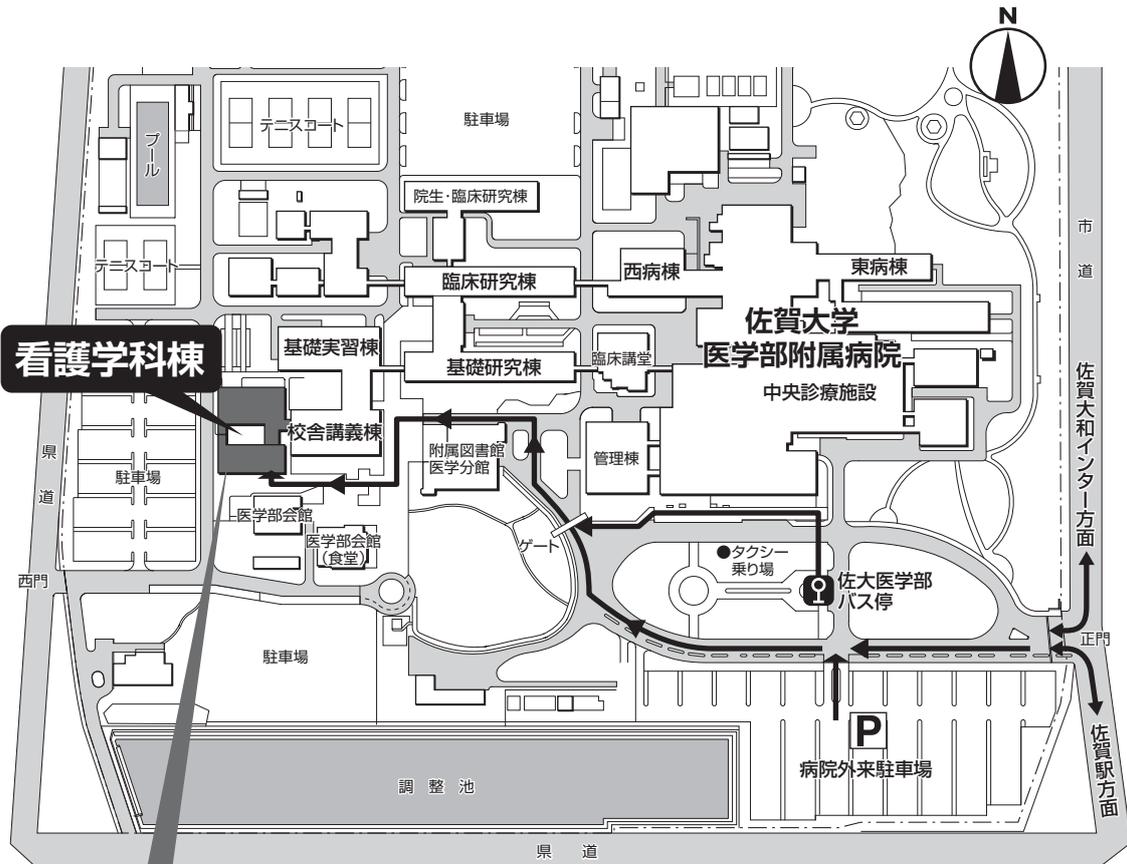


## 会場へのアクセス

- 佐賀空港→佐賀駅へ  
佐賀駅バスセンター行きに乗車  
→『佐賀駅バスセンター(終点)』下車(約35分)
- 佐賀駅→佐賀大学医学部へ  
行先番号 50(神野公園・佐大医学部行き)もしくは、  
行先番号 51(卸センター・佐大医学部行き)に乗車  
→『佐大医学部(終点)』下車(約25分)
- タクシー 佐賀駅北口から乗車 → 佐賀大学医学部附属病院で降車(約15分)
- 自家用車 佐賀大学附属病院の外来用駐車場をご利用下さい。

現在、佐賀大学医学部の敷地内は工事中です。  
ご迷惑をおかけしますが、当日は案内表示にご注意ください。

# 会場案内図





# プログラム

---

13:00～13:05 開会挨拶 会長 魚住 二郎

---

13:05～14:15 症例検討 九州沖縄地区献腎移植症例検討 座長：上田 祐滋（県立宮崎病院 外科）  
錦戸 雅春（長崎大学血液浄化療法部）

---

14:15～15:20 一般演題Ⅰ 座長：徳田 倫章（佐賀県立病院好生館 泌尿器科）  
中村 信之（福岡大学医学部 泌尿器科）

## 1 医学生講義に知るカード確認とオプション提示の啓発の問題点

国家公務員共済組合連合会 新小倉病院 脳神経外科

○吉開 俊一

## 2 診断・治療に難渋した、移植腎に生じた巨大血腫の一例

1)福岡赤十字病院 移植外科、2)同 外科、3)同 心臓血管外科、4)同 腎臓内科、  
5)同 病理診断科、6)同 看護部

○本山 健太郎<sup>1)</sup>、山元 啓文<sup>2)</sup>、井上 重隆<sup>2)</sup>、阿部 篤<sup>2)</sup>、河田 純<sup>2)</sup>、平沼 正明<sup>2)</sup>、  
田邊 麗子<sup>2)</sup>、佐藤 典宏<sup>2)</sup>、橋爪 健太郎<sup>2)</sup>、小島 雅之<sup>2)</sup>、山本 恵美<sup>6)</sup>、水政 透<sup>4)</sup>、  
宮本 和幸<sup>3)</sup>、中島 豊<sup>5)</sup>、中房 祐司<sup>2)</sup>

## 3 腎移植後に尿管膀胱吻合部に発症した膀胱結石

沖縄県立中部病院

○新垣 義孝、八木橋 祐亮、村上 啓隆、宮里 均、耒田 善彦、上原 元

## 4 腎移植における尿管ステント留置と抜去は安全か？

鹿児島大学病院

○山田 保俊、上村 康介、鑪野 秀一、五反田 丈徳、榎田 英樹、中川 昌之

## 5 大分大学における単孔式腹腔鏡下生体腎採取術の検討

大分大学医学部 腎泌尿器外科学講座

○安藤 忠助、野村 威雄、住野 泰弘、佐藤 文憲、三股 浩光

---

15:20～15:35 coffee break

## 6 生体腎移植術後にBKウイルス血症を認めた2例

1)熊本赤十字病院 外科、2)同 内科、3)同 救命救急センター

○日高 悠嗣<sup>1)</sup>、山永 成美<sup>1)</sup>、福田 海<sup>1)</sup>、川端 知晶<sup>2)</sup>、豊田 麻理子<sup>2)</sup>、上木原 宗一<sup>2)</sup>、井 清司<sup>3)</sup>

## 7 約10年ぶりに再開した、生体腎移植の3例

1)佐賀県立病院好生館 泌尿器科、2)同 腎臓内科

○徳田 倫章<sup>1)</sup>、諸隈 太<sup>1)</sup>、白水 翼<sup>1)</sup>、長沼 英和<sup>1)</sup>、李 賢<sup>1)</sup>、内野 洋志<sup>1)</sup>、大塚 伸<sup>2)</sup>、中村 恵<sup>2)</sup>

## 8 本県初の脳死下臓器提供献腎移植の経過報告

宮崎県立宮崎病院 外科

○錦 建宏、上田 祐滋、尾野 美美子、大友 直樹、豊田 清一

## 9 中国への渡航腎移植患者の飛込み来院の経験

福岡大学病院 泌尿器科 腎臓膠原病内科

○中村 信之、小河原 悟、古賀 洋介、古屋 龍三郎、宮島 茂郎、入江 慎一郎、松岡 弘文、伊藤 建二、安部 泰弘、笹富 佳江、中島 衡、田中 正利

## 10 献腎移植後4ヶ月目にdelayed graft functionを示した1例

琉球大学大学院 医学研究科泌尿器科講座

○波止 亮、宮城 亮太、松村 英理、池原 在、安次嶺 聡、町田 典子、宮里 実、呉屋 真人、大城 吉則、斎藤 誠一

## 11 MMF導入後の当科における免疫抑制療法と臨床成績 ～MMF至適投与量に関する考察も合わせて～

1)長崎大学病院 泌尿器科、2)同 血液浄化療法部、3)同 薬剤部

○望月 保志<sup>1)</sup>、岩田 隆寿<sup>1)</sup>、松尾 朋博<sup>1)</sup>、酒井 英樹<sup>1)</sup>、錦戸 雅春<sup>2)</sup>、松永 典子<sup>3)</sup>

## 「臓器移植法改正後の臓移植・腎移植の現状と展望」

杉谷 篤 先生 国立病院機構米子医療センター 外科

# 抄 録

## 臓器移植法改正後の膵移植・腎移植の現状と展望

独立行政法人国立病院機構 米子医療センター・外科

杉谷 篤

1997年に臓器移植法が施行され、2012年4月20日現在172例の脳死下臓器提供がありました。2010年7月の臓器移植法改正前が13年間で86例に対し、改正後は1年9か月間でちょうど同数になりました。法改正直後にはハイペースで脳死ドナーが出現し、提供・移植体制の整備、膵臓移植の適応、献腎配分ルールの変更などが検討されましたが、やがて脳死ドナー数も減少し、例年よりもやや多い程度に落ち着いています。2010年7月の臓器移植法改正後、藤田保健衛生大学・臓器移植再生医学講座に在任中、法改正後の第1例目、15歳以下の小児ドナー第1例目からの脳死下膵腎同時移植をはじめ、2012年3月末日現在、15例の膵移植・膵腎同時移植、また、生体ドナーからの膵腎同時移植も2例施行しました。しかし、Marginal donor と High-risk recipient が多く、適応の判断、摘出手術、移植手術、周術期管理にいろいろな工夫が必要でした。例えば、以下のような事例がありました。

- 1) 高度便秘の弊害と手術時、周術期の工夫
- 2) 神経因性膀胱とその対策
- 3) 心血管系障害と周術期の判断
- 4) 脳血管系障害と周術期の管理
- 5) 多臓器摘出のときの手術手技の工夫と判断
- 6) ベンチ手術における判断と GDA 再建の回避
- 7) レシピエント動脈、静脈の処理と考え方
- 8) ドナー動脈を用いた腸骨動脈置換の実例
- 9) 石灰化が強い動脈に対する血管鉗子の選択と使い方
- 10) ドナー動脈切片の活用例
- 11) 腹膜外腔移植と腹腔内吻合の融合
- 12) 膀胱吻合、腸管吻合の選択と手術手技
- 13) Ipsilateral SPK (同側膵腎同時移植) の実例
- 14) 腸管吻合におけるループ吻合と Roux-Y ループの選択
- 15) PAK のときの免疫抑制療法、腎グラフト機能

米国在籍中から自験例を顧みて、手術と術後管理が難しくなってきた理由を考えて、事例とともに供覧し、本邦における膵移植、腎移植の展望を述べたいと思います。

# 協賛企業

(50音順)

旭化成ファーマ株式会社

アステラス製薬株式会社

小野薬品工業株式会社

杏林製薬株式会社

協和発酵キリン株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

第一三共株式会社

大正富山医薬品株式会社

大鵬薬品工業株式会社

武田薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

日本化薬株式会社

ノバルティスファーマ株式会社

ファイザー株式会社

本研究会の運営にあたり上記の会社より御協力いただきました。ここに深く感謝の意を表します。有り難うございました。

第32回九州腎臓移植研究会

会長 魚住 二郎

第32回九州腎臓移植研究会  
プログラム・抄録集

---

会 長：魚住 二郎

事務局：佐賀大学医学部 泌尿器科

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1

TEL：0952-34-2344 FAX：0952-34-2060

出 版：株式会社セカンド  
<http://www.secand.com/>

〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



**第32回 九州腎臓移植研究会事務局**

---

佐賀大学医学部 泌尿器科

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1

TEL: 0952-34-2344

FAX: 0952-34-2060